



# 小坪小だより

5月号

横浜市立小坪小学校

横浜市港南区港南台4-11-1 電話 832-0617



## トンボロチャレンジ ～主体的に 粘り強く～

副校長 青柳 英樹

みなさんは、「トンボロ」をご存知でしょうか。似たような響きですが流行のシールのことではありません。

昨年5月か6月のころだったと思います。インターネットのニュースを見ていた時に、江の島のトンボロについて紹介している記事がありました。トンボロを簡単に説明すると、海の潮が引いたときに海底が干上がって、普段は海で隔てられている陸と島が細長い道でつながる現象のことです。そのトンボロが江の島で見られるとのことでした。自然現象には関心があるので、「江の島のトンボロを見ることができののだろうか」「できることなら見てみたい」と思いました。

数日後のニュースでは、藤沢市の小中学生が江の島のトンボロを渡った人に証明書を発行するという記事がありました。小学校の教員をしている自分にとって、その活動にも興味がわき、「渡れるものであれば渡ってみたい」と強く思いました。

江の島のトンボロはいつ見ることができののか調べてみると、藤沢市観光公式ホームページにトンボロが現れる可能性がある日程の情報がありました。昨年情報では、春から秋にかけての日程が掲載されていました。

いざ実行に移そうとしたときに、「松葉杖でも渡れるのだろうか」「ぬかるみは大丈夫なのだろうか」「体力はもつのだろうか」「途中で潮が満ちてきたらどうしたらよいのだろうか」と不安になってしまいました。そうして時は過ぎ、昨年は実行できずに終わってしまいました。

今年の春を迎え、「やっぱりトンボロを渡る」と、自分にとっての課題を設定し、これから今年の日程を調べたり、渡った人の情報を集めたりするなどの準備をして、チャレンジしてみようと思っています。

子どもたちも、普段の学習活動や日常生活の中で、ふと疑問をもったり不思議さを感じたり、興味・関心をもったりすることがあるはずです。それらをもとに、ぜひ自分にとっての目標やめあてを主体的にもってほしいと思います。そして達成や解決をめざして、調べたり、考えたり、人に聞いたりするなどの工夫をしながら、粘り強く取り組んでほしいと願います。その取り組みを通して自分のよきに気づき、伸ばし、望ましく成長することを期待します。そのような小坪っ子たちの成長を支えていきたいと思っています。

トンボロチャレンジの結果は、いつかよい報告ができたらと思います。今月も、よろしくお願いいたします。